

オランダ

Kingdom of the Netherlands

	2016年	2017年	2018年
①人口：1,718万人（2018年）			
②面積：4万4,513km ²			
③1人当たりGDP：5万3,106米ドル （2018年）			
④実質GDP成長率（%）	2.2	2.9	2.6
⑤消費者物価上昇率（%）	0.3	1.4	1.7
⑥失業率（%）	6.0	4.9	3.8
⑦貿易収支（100万ユーロ）	65,703	71,944	73,926
⑧経常収支（100万ユーロ）	57,103	79,867	84,174
⑨外貨準備高（100万米ドル）	13,342	12,893	13,195
⑩対外債務残高（グロス） （100万ユーロ）	3,973,859	3,920,534	3,921,875
⑪為替レート（1ユーロにつき、 1米ドル、期中平均）	0.9034	0.8852	0.8468

〔注〕⑥：15～74歳、⑦：国際収支ベース（財のみ）
〔出所〕①②④～⑥：オランダ中央統計局（CBS）、③⑨⑩：IMF、⑦⑧⑩：オランダ国立銀行（DNB）

2018年のオランダ経済は、堅調な消費に支えられたが、投資と輸出入の伸びが前年を下回り、実質GDP成長率は前年を若干下回る2.6%となった。貿易は、輸出入ともに前年比では減速したが堅調な伸び率を示した。輸出では米国向けが大幅（20.4%）増となった一方、前年の伸び率が15.0%だったアジア太平洋州向けが1.2%と停滞した。対内直接投資は、食品、医薬品、化学分野で工場などの新設、既存施設の拡張の動きがあり、日本企業の大規模案件もあった。対日貿易も拡大した。

経済は減速傾向に

実質GDP成長率は2014年から2017年まで前年を上回る伸びを続けてきたが、2018年はピークとなった前年の2.9%を下回り2.6%となった。需要項目別にみると、民間最終消費支出は前年比2.3%増、政府最終消費支出は1.6%増と前年を上回り堅調に推移した。他方、世界貿易が減速に向かう中、財貨・サービスの輸出、輸入はそれぞれ3.7%増、3.3%増、国内総固定資本形成は3.2%増と、堅調ではあったが前年の伸びを下回り、成長率の鈍化につながった。

2019年は世界貿易の減速などにより輸出の伸びが鈍化すると見込まれるとして、オランダ経済政策局は2019年6月時点で1.7%の成長を予測している。

輸出・輸入・再輸出とも着実な伸び

2018年の貿易は、輸出が前年比6.1%増の4,960億ユーロ、輸入は8.0%増の4,416億3,700万ユーロであった。

表1 オランダの需要項目別実質GDP成長率

	2017年	2018年				2019年	
		Q1	Q2	Q3	Q4		
実質GDP成長率	2.9	2.6	2.8	3.0	2.5	2.2	1.7
民間最終消費支出	2.1	2.3	3.0	2.5	1.7	2.1	0.7
政府最終消費支出	0.9	1.6	2.1	1.7	1.6	1.0	1.3
国内総固定資本形成	4.2	3.2	6.1	5.7	△1.9	2.5	5.0
財貨・サービスの輸出	6.5	3.7	3.9	4.2	4.5	2.5	1.3
財貨・サービスの輸入	6.2	3.3	5.0	4.1	2.9	1.4	2.2

〔注〕四半期の伸び率は前年同期比。

〔出所〕オランダ中央統計局（CBS）

オランダ中央統計局によると、輸出額の44.2%を占める再輸出は前年比6.1%増の2,193億3,900万ユーロ、55.8%を占めるオランダ産品の輸出額は6.1%増の2,766億6,200万ユーロと、それぞれ着実に伸びた。輸出額に占める再輸出率が高かった品目は、加工製品である雑製品（65.7%）と機械類・輸送用機器（55.1%）であった。再輸出率を地域別にみると、EUの50.2%を筆頭に、オセアニア（40.3%）、アジア（29.8%）、米州（28.3%）と続く。

輸出を品目別にみると、主要輸出品目の機械類・輸送用機器（構成比28.7%）は7.2%増、化学製品（17.5%）は6.8%増と堅調に伸び、鉱物性燃料・潤滑油・その他（13.8%）は11.8%増の2桁増となった。一方、昨年6.2%増だった食料品および動物（12.8%）は1.3%増にとどまった。

2018年の輸出を国・地域別にみると、全体の70.9%を占めるEUは前年比5.4%増だった。最大の輸出先であるドイツ（構成比22.8%）が前年比5.8%増となり、16.8%増の鉱物性燃料・潤滑油・その他、10.3%増の化学製品、6.7%増の機械類・輸送用機器が牽引した。第2の輸出先であるベルギー（10.1%）は4.3%増で、7.6%増の機械類・輸送用機器、5.8%増の鉱物性燃料・潤滑油・その他、5.5%増の化学製品が好調だった。輸出先3位の英国（8.0%）は1.1%増にとどまった。英国向け輸出を品目別にみると、全体の約3割を占める機械類・輸送用機器が2.8%増にとどまり、それに次ぐ化学製品が4.0%減と落ち込んだ。

表2 オランダの品目別輸出入

(単位：100万ユーロ、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2017年	2018年			2017年	2018年		
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
機械類・輸送用機器	132,597	142,198	28.7	7.2	128,490	138,182	31.3	7.5
化学製品	81,296	86,791	17.5	6.8	52,296	54,488	12.3	4.2
鉱物性燃料・潤滑油・その他	61,257	68,506	13.8	11.8	66,785	79,670	18.0	19.3
食料品および動物	62,467	63,289	12.8	1.3	40,929	42,264	9.6	3.3
雑製品	53,670	58,160	11.7	8.4	54,778	58,593	13.3	7.0
工業製品 (原料別製品)	41,496	42,698	8.6	2.9	40,471	43,700	9.9	8.0
非食品原材料 (鉱物性燃料は除く)	21,432	22,456	4.5	4.8	14,784	15,814	3.6	7.0
飲料およびタバコ	6,060	5,747	1.2	△5.2	3,978	3,881	0.9	△2.4
動植物性油脂	4,269	3,669	0.7	△14.0	5,149	4,611	1.0	△10.4
合計 (その他含む)	467,434	496,000	100.0	6.1	408,885	441,637	100.0	8.0

[注] EU域外貿易は通関ベース、EU域内貿易は各企業のインボイス報告などに基づく (表3も同じ)。
品目分類はSITCによる。

[出所] オランダ中央統計局 (CBS)

アジア大洋州向けは、台湾向け (構成比0.9%) が鉱物性燃料が18.9倍となったことを受けて33.1%増と大きく伸びたが、中国向け (2.1%) が9.6%減、韓国向け (1.1%) が9.7%減と落ち込んだため、1.2%増にとどまった。中国向けでは全体の3割を占める機械類・輸送用機器が17.6%減と大幅に減少したほか、非食品原材料 (鉱物燃料は除く) (構成比8.1%) も18.0%減となった。

表3 オランダの主要国・地域別輸出入

(単位：100万ユーロ、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2017年	2018年			2017年	2018年		
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
EU	333,649	351,661	70.9	5.4	221,774	236,283	53.5	6.5
ドイツ	106,851	113,088	22.8	5.8	74,340	77,711	17.6	4.5
ベルギー	48,137	50,215	10.1	4.3	42,196	44,186	10.0	4.7
英国	39,223	39,670	8.0	1.1	23,276	26,315	6.0	13.1
フランス	37,684	39,050	7.9	3.6	15,925	16,537	3.7	3.8
イタリア	18,980	20,327	4.1	7.1	9,837	10,748	2.4	9.3
スペイン	13,758	14,843	3.0	7.9	7,830	8,764	2.0	11.9
ポーランド	11,914	12,973	2.6	8.9	8,137	8,764	2.0	7.7
スウェーデン	9,623	9,909	2.0	3.0	6,702	6,514	1.5	△2.8
スイス	5,821	6,097	1.2	4.7	2,457	2,433	0.6	△1.0
トルコ	5,926	5,524	1.1	△6.8	2,801	3,465	0.8	23.7
ロシア	5,392	5,414	1.1	0.4	15,247	17,245	3.9	13.1
ノルウェー	4,403	4,329	0.9	△1.7	10,358	14,100	3.2	36.1
米州	33,270	38,900	7.8	16.9	45,005	48,815	11.1	8.5
米国	19,781	23,819	4.8	20.4	30,904	33,796	7.7	9.4
カナダ	3,380	3,913	0.8	15.8	1,503	1,704	0.4	13.4
メキシコ	2,280	2,576	0.5	13.0	1,533	1,840	0.4	20.0
ブラジル	2,466	2,487	0.5	0.8	4,049	3,682	0.8	△9.1
アジア大洋州	41,907	42,430	8.6	1.2	83,945	88,843	20.1	5.8
中国	11,322	10,234	2.1	△9.6	36,109	39,171	8.9	8.5
韓国	5,959	5,380	1.1	△9.7	3,355	3,502	0.8	4.4
シンガポール	5,356	5,324	1.1	△0.6	3,658	3,883	0.9	6.2
台湾	3,437	4,576	0.9	33.1	3,094	3,417	0.8	10.4
日本	3,714	4,247	0.9	14.4	7,727	7,847	1.8	1.6
アフリカ	12,767	16,140	3.3	26.4	10,025	11,069	2.5	10.4
合計 (その他含む)	467,434	496,000	100.0	6.1	408,885	441,637	100.0	8.0

[注] アジア・大洋州は、ASEAN+6 (日本、中国、韓国、オーストラリア、ニュージーランド、インド) に香港、台湾を加えた合計値。

[出所] オランダ中央統計局 (CBS)

2016年の国民投票で英国がEU離脱を選択した後、英国向け輸出の伸びが低迷している。

EU域外では最大の輸出先の米国向け (構成比4.8%) が前年比20.4%の大幅増となった。全体の4割強を占める機械類・輸送用機器が25.2%増だったことに加え、鉱物性燃料・潤滑油・その他が38.7%増、雑製品が23.2%増と著しい伸びを示したことによる。

である中国 (構成比8.9%) の伸び率が8.5%と貢献した。中国は機械類・輸送用機器 (構成比58.7%) が9.0%増、それに次ぐ構成比の雑製品 (23.2%) が8.2%増、工業製品 (原料別製品、9.0%) も8.3%増と順調に伸びた。そのほか、韓国 (0.8%) が4.4%増、シンガポール (0.9%) が6.2%増、台湾 (0.8%) が10.4%増と順調に伸びた。

米国 (構成比7.7%) は9.4%増となった。最大の輸入

品目である機械類・輸送用機器（36.8%）が0.1%減となったが、それに次ぐ輸入額の雑製品（20.8%）が7.7%増、化学製品（18.8%）が8.4%増、鉱物性燃料・潤滑油・その他（11.6%）が59.7%増と大幅に伸びたことによる。

■対内、対外直接投資とも大幅な引き上げ超過に

2018年の対内直接投資（ネット、フロー）は2,109億8,900万ユーロの引き上げ超過となった。米国の引き上げ超過額が前年の896億8,200万ユーロから2,217億7,500万ユーロへと大きく拡大し、アイルランド（390億7,900万ユーロ）とルクセンブルク（906億5,900万ユーロ）も引き上げ超過に転じたことから、ユーロ圏全体でも1,020億4,200万ユーロの引き上げ超過となった。

2018年中に完了した大規模な対内投資案件としては、アクゾ・ノーベルの特殊化学品事業（現ヌーリオン）を投資ファンドの米国カーライル・グループとシンガポール政府投資公社に101億ユーロで売却した案件（10月）が大きかった。そのほか、スイスのネスレの1億ユーロ投入によるヌンスペートの工場内への牛乳たんぱく質アレルギーの乳児用粉ミルク製造ラインの新設（3月）、アボット・ラボラトリーズによる8,000万ドルを投じてのウエースプの既存製造拠点での女性の黄体ホルモン不足の治療薬の製造施設の拡張（7月）などがある。

オランダ国立銀行によると、2018年の対外直接投資額（ネット、フロー）も、2,016億5,600万ユーロの引き上げ超過であった。ルクセンブルクの引き上げ超過額が前年の167億1,700万ユーロから1,963億4,000万ユーロに大きく拡大し、アイルランド（マイナス325億8,100万ユーロ）なども前年に引き続き引き上げ超過となったため、ユーロ圏向けが1,904億5,200万ユーロの大幅な引き上げ超過となった。米国（マイナス121億2,600万ユーロ）、英国（マイナス108億3,100万ユーロ）も引き上げ超過に転じた。

2018年中に発表された主な対外直接投資案件としては、エネルギー貯蔵・蓄電池製造のリチウム・ワークスの16億ユーロを投じての中国・浙江省でのリチウムイオン電池用のバッテリーセル工場の建設（10月発表）、ユニリーバのパキスタンでの製造を強化するための1億2,000万ドルの投資（3月発表）、アクゾ・ノーベル・スペシャリティ・ケミカルズ（現ヌーリオン）の9,000万ユーロを投資しての中国・天津での有機過酸化物製造プラントの建設開始（既存プラントの更新、7月）がある。また、ハイネケンは8月に、中国ビール最大手華潤ビールを傘下におくチャイナ・リソーシズ・エンタープライズの株式40%を取得すると発表。中国のプレミアムビール市場で

表4 オランダの国・地域別対内・対外直接投資
＜国際収支ベース、ネット、フロー＞

（単位：100万ユーロ）

	対内直接投資		対外直接投資	
	2017年 金額	2018年 金額	2017年 金額	2018年 金額
EU	153,547	△10,819	△11,780	△231,817
ユーロ圏	106,395	△102,042	△34,653	△190,452
ドイツ	12,190	41,897	40,867	39,224
フランス	3,351	15,767	18,684	8,306
イタリア	△110	△172	△3,146	4,035
マルタ	△1,397	40	△5,946	△831
フィンランド	△1,431	△7,088	△7,590	△7,182
スロベニア	6	4	19	38
エストニア	△20	1	△47	20
スロバキア	41	△20	△685	133
ギリシャ	△13	△24	207	87
ラトビア	△17	△26	△243	182
リトアニア	△10	△73	15	16
ポルトガル	△4,364	△622	488	△34
キプロス	△1,205	△2,129	△2,703	△2,521
オーストリア	5,382	△262	1,538	1,264
スペイン	4,729	△3,089	△7,178	△2,263
ベルギー	△11,020	△16,507	△6,676	△2,002
アイルランド	83,338	△39,079	△45,539	△32,581
ルクセンブルク	16,947	△90,659	△16,717	△196,340
非ユーロ圏	47,152	91,222	22,874	△41,366
スウェーデン	13,946	11,220	988	10,326
英国	35,157	79,731	23,630	△10,831
ルーマニア	△775	70	243	△1,622
ブルガリア	△136	5	△117	△208
ポーランド	105	△31	△927	3,652
デンマーク	△479	967	1,009	1,336
カナダ	20,195	75,090	△1,423	88,458
スイス	△16,916	36,251	△2,029	55,075
香港	12,880	4,601	△521	1,860
ブラジル	6,642	△428	△4,174	740
ロシア	△8,232	△710	△6,068	△2,286
インド	56	△151	2,045	2,770
中国	3,320	△668	478	△179
ノルウェー	△146	54	787	△735
日本	7,184	△8,637	1,823	3,752
米国	△89,682	△221,775	118,564	△12,126
合計（その他含む）	90,657	△210,989	134,515	△201,656

〔出所〕オランダ国立銀行（DNB）

の販売拡大を目指すとしている。オンライン宅配サービスのテイクアウェイ・ドットコムは、ドイツでのビジネス拡大のためデリバリー・ヒーロー（Lieferheld、Pizzade、foodoraなどのブランド含む）を買収すると12月に発表した。

■対日貿易は拡大、大手日系企業の進出相次ぐ

オランダ中央統計局によると、2018年の対日輸出額は前年比14.4%増の42億4,700万ユーロ、輸入額は1.6%増の78億4,700万ユーロであった。輸出のうちオランダ産品の輸出（26億3,900万ユーロ）は15.2%増、再輸出（16億800万ユーロ）も12.9%増となった。

対日輸出を品目別にみると、最大輸出品目の機械類・

表5 オランダの主な対内直接投資案件（2018年）

<M&A以外>

業種	企業名	国籍	時期	投資額	概要
インターネット	グーグル	米国	2018年3月	5億ユーロ	2016年に開設したエームスハーフェンのデータセンターを、5億ユーロ追加投資し拡張すると発表。
化学	積水化学	日本	2018年1月	200億円	ルールモンドにある合わせガラス用中間膜の製膜工場に新製膜ラインを、ヘレーンにある原料樹脂工場に新樹脂ラインをそれぞれ増設すると発表。
食品	ネスレ	スイス	2018年3月	1億ユーロ	ヌンスペート工場内に、牛乳たんぱく質アレルギーの乳児用粉ミルクの製造ラインを新設。
ヘルスケア	アボット・ラボラトリーズ	米国	2018年7月	8,000万ドル	ウエースプにある女性の黄体ホルモン不足の治療薬の製造施設を拡張。同社の生産能力を60%拡大。
化学	BASF	ドイツ	2018年11月	5,000万ユーロ	ナンフムに最先端のキュウリの育種センターを開設し、野菜種子事業のための新しい品種を開発したと発表。
食品	クラフト・ハインツ	米国	2018年5月	非公表	アムステルダムに「グローバル・センター・オブ・エクセレンス」を開設。グローバル化に適応すべく、製造、物流、収益管理などについてベストプラクティスを研究する。ベネルクス本社としての機能も担う。
ヘルスケア	ジョンソン&ジョンソン	米国	2018年10月	非公表	ライデンに新ワクチンの治験のための治験薬開発製造プラントを開設。

<M&A>

業種	被買収企業（事業）		買収企業		時期	投資額	概要
	企業名	企業名	国籍	国籍			
化学	アクゾ・ノーベル	カーライル・グループ、シンガポール政府投資公社	米国/シンガポール	米国/シンガポール	2018年10月	101億ユーロ	投資ファンドの米国カーライル・グループとシンガポール政府投資公社への特殊化学品事業の売却の完了を発表。譲渡後はヌーリオンの社名で事業を展開。
通信	ベオン	CKハチソン・ホールディングス	香港	香港	2018年7月	24億5,000万ユーロ	大手複合企業CKハチソン・ホールディングスは、同社がベオンと折半出資するイタリア移動体通信大手ウインド・トレのベオンの持ち分の株式すべてを取得すると発表。
化学/素材	テンカーテ・アドバンスト・コンポジット・ホールディング	東レ	日本	日本	2018年7月	9億3,000万ユーロ	東レは、航空分野などに用いられる炭素繊維複合材料などを製造販売するテンカーテ・アドバンスト・コンポジット・ホールディングの株式取得を完了。
製薬	プレクストン・セラピューティクス	ルンドベック	デンマーク	デンマーク	2018年3月	9億500万ユーロ	ルンドベックは、メルクからスピノフしたバイオ医薬品ベンチャーのプレクストン・セラピューティクスを買収すると発表。同社が開発中のパーキンソン病治療薬の世界的な販売権を取得。
ソフトウェア	ラエット	ビスマ・グループ	ノルウェー	ノルウェー	2018年5月	非公表	ビスマグループは給与計算などのクラウドソフトウェアを提供するラエットの株式を100%買収すると発表。

[出所] 各社発表および報道などから作成

表6 オランダの主な対外直接投資案件（2018年）

<M&A以外>

業種	企業名	投資先国	時期	投資額	概要
エネルギー貯蔵・蓄電池製造	リチウム・ワークス	中国	2018年10月	16億ユーロ	中国・浙江省にリチウムイオン電池用のバッテリーセル工場を建設すると発表。
食品	ユニリーバ	パキスタン	2018年3月	1億2,000万ドル	消費財市場の需要増を見込み、パキスタンにある4つの工場の製造能力を2年かけて強化すると発表。
化学	アクゾ・ノーベル・スペシャリティ・ケミカルズ（現ヌーリオン）	中国	2018年7月	9,000万ユーロ	中国の天津南港工業区に有機過酸化化物製造プラントの建設を開始。2020年第2四半期に完成予定。既存のプラントを置き換え、生産能力を拡張。
化学/塗料	アクゾ・ノーベル	ケニア	2018年7月	非公表	ケニア・ナイロビに建材用塗料工場を開設

<M&A>

業種	被買収企業（事業）		時期	投資額	概要	
	企業名	企業名				国籍
ハイネケン	飲料	チャイナ・リソーシズ・エンタープライズ	中国	2018年8月	243億香港ドル	中国ビール最大手華潤ビールを傘下におくチャイナ・リソーシズ・エンタープライズの株式40%を取得すると発表。長期的な戦略的パートナーシップにより、中国本土、香港、マカオのプレミアムビール市場での販売拡大を目指す。（2019年4月に株式取得を完了）
テイクアウェイ・トッドコム	フード・デリバリー	デリバリー・ヒーロー	ドイツ	2018年12月	9億3,000万ユーロ	ドイツの宅配ビジネスグループ、デリバリー・ヒーロー（Lieferheld、Pizza.de、foodoraなどのブランド含む）を買収すると発表。
フィリップス	医療機器	EPDソリューションズ	米国	2018年6月	2億5,000万ユーロの前金およびマイルストーンペイメント	心臓画像処理とナビゲーションシステムの先駆企業である米国のヘルスケア会社EPDソリューションズを買収すると発表。

[出所] 各社発表および報道などから作成

輸送用機器（構成比34.0%）が15.7%増となった。機械類・輸送用機器の内訳として特に伸びたのは、電気通信機器、録音再生装置（2.8%）の2.1倍、原動機（4.8%）の43.3%増、電気機械・機器その他（6.2%）の20.0%増だった。食料品および動物（13.2%）も、食肉・食肉調整品（3.2%）が49.2%増と大幅増となったことに伴い18.1%増と伸びた。一方、化学製品（18.0%）は、有機化学品（2.7%）が18.9%増であったが、医薬品（9.9%）が25.4%減となり、全体では9.6%減となった。

対日輸入では、最大輸入品目の機械類・輸送用機器（構成比68.5%）が2.6%増にとどまった。道路用車両（9.5%）が19.3%増、特定産業用特殊機械類（11.1%）が17.2%増と大きく伸びた一方で、通信・音声記録・再生機器（7.0%）が19.1%減、事務用機器・電算機（20.1%）が4.7%減と落ち込んだことによる。雑製品（14.8%）は、光学・医療・計測および制御機器（7.2%）が13.7%増、その他雑製品（4.0%）が96.3%増と大きく伸びたことにより、20.4%増となった。続いて輸入額が大きい化学製品（構成比9.6%）は有機化学品（2.6%）が30.5%減となったため、22.8%減であった。

オランダ国立銀行によると、2018年の日本からの対内直接投資額は86億3,700万ユーロの引き揚げ超過、日本

への対外直接投資額は37億5,200万ユーロだった。

日本企業の動きとしては、東レが2018年7月に炭素繊維複合材料メーカーであるテンカーテ・アドバンスト・コンポジット・ホールディングの9億3,000万ユーロでの株式取得を完了したほか、製造業でオランダでの製造拠点の拡充・新設の発表が相次いだ。積水化学は2018年1月に、合わせガラス用中間膜の製膜工場に新製膜ラインを、原料樹脂工場に新樹脂ラインを、200億円を投じて増設すると発表。三井化学は2018年5月、自動車軽量化ニーズへの対応のため、1,840万ユーロを投資しポリプロピレン・コンパウンドの生産拠点をキャメロットに設立し、2020年6月の運転開始を目指すとして発表した。サッポロは2018年12月、1,000万円の資本金を投じて欧州全域での酒類販売を業務とする販売子会社をアムステルフェーン市に設立すると発表した。農林中央金庫は2019年1月、英国のEU離脱も念頭に置き、欧州におけるビジネス強化を目的とした銀行現地法人を設立すると発表した。

オランダからの対日投資案件としては、オランダ応用科学研究機構（TNO）の自動車部門が2018年4月に、日本における既存顧客へのサービス強化を目的にTNO JAPAN株式会社を横浜に設立した。

表7 オランダの対日主要品目別輸出入<通関ベース>

	輸出 (FOB)					輸入 (CIF)			
	2017年		2018年			2017年		2018年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
食料品および動物	474	560	13.2	18.1	食料品および動物	46	49	0.6	6.5
食肉・食肉調整品	91	136	3.2	49.2	食肉・食肉調整品	2	2	0.0	0.0
酪農品及び鳥卵	135	136	3.2	0.8	魚介類	19	20	0.3	5.3
野菜・果実	70	82	1.9	17.6	その他食品・調整品	16	17	0.2	6.3
その他食品・調整品	41	53	1.2	29.0	飲料および煙草	17	24	0.3	41.2
飲料および煙草	48	73	1.7	52.1	飲料	17	24	0.3	41.2
非食品原材料（鉱物性燃料は除く）	110	131	3.1	19.3	原材料（非食用・非鉱物燃料）	73	88	1.1	20.5
金属鉱および金属くず	28	49	1.2	73.0	化学製品	971	750	9.6	△22.8
その他の動物性又は植物性の原材料	68	66	1.6	△2.2	有機化学品	298	207	2.6	△30.5
鉱物燃料、潤滑油、同関連物質	23	118	2.8	409.9	無機化学品	92	102	1.3	10.9
石油および石油製品、同関連材料	15	117	2.8	674.7	プラスチック	120	142	1.8	18.3
化学製品	844	763	18.0	△9.6	工業製品（原料別製品）	376	369	4.7	△1.9
有機化学品	97	115	2.7	18.9	金属製品	153	147	1.9	△3.9
医薬品	562	419	9.9	△25.4	機械類・輸送用機器	5,241	5,376	68.5	2.6
工業製品（原料別製品）	169	199	4.7	17.5	特定産業用特殊機械類	743	871	11.1	17.2
機械類・輸送用機器	1,247	1,443	34.0	15.7	一般産業機械類	461	462	5.9	0.2
原動機	142	204	4.8	43.3	事務用機器・電算機	1,652	1,575	20.1	△4.7
特定産業用特殊機械類	325	292	6.9	△9.9	通信・音声記録・再生機器	681	551	7.0	△19.1
電気通信機器、録音再生装置	54	111	2.6	105.1	電気機械・機器その他	844	915	11.7	8.4
電気機械・機器その他	219	263	6.2	20.0	道路用車両	628	749	9.5	19.3
道路用車両	321	305	7.2	△4.7	雑製品	962	1,158	14.8	20.4
雑製品	780	938	22.1	20.2	光学・医療・計測および制御機器	496	564	7.2	13.7
光学・医療・計測および制御機器	479	521	12.3	8.8	写真用機器、その他の光学用品および時計	289	258	3.3	△10.7
その他の雑製品	230	313	7.4	36.2	その他雑製品	160	314	4.0	96.3
合計（その他含む）	3,714	4,247	100.0	14.4	合計（その他含む）	7,727	7,847	100.0	1.6

〔出所〕オランダ中央統計局（CBS）